路地百選推薦書【No.１９９】

推薦者氏名：事務局

推薦する路地（のまち）の名称	鎌倉　長寿寺～扇ガ谷の路地
所在地	神奈川県鎌倉市　山ノ内・扇ガ谷

【推薦する理由（路地のよいところ）】

長寿寺の脇に緩い上り坂の路地が有る。次第に両側の法面が高くなり木々もうっそうとしてくる。鎌倉七口の一つ亀ガ谷の切り通しである。訪れた時間がもう夕刻を過ぎ、だいぶ薄暗くなって、人通りもほとんど見られない。しばらく行くと、峠を越えて扇ガ谷の閑静な住宅地に入る。東に石畳のある路地が分かれる。寺院への参道か。路はＪＲ横須賀線の脇を沿って南下する。横須賀線の線路敷きに、錆付いた階段がモニュメントのように立っている。一昔前のトマソン物件「純粋階段」である。路地脇の大きな窓の飲食店が開店準備をしている。我々が覗くと、ママさんたちが寄ってけと手招きする。さらに路地は右に左にと方向を変えつつ続いている。何とも楽しい路地歩きである。

【写真添付】

亀ガ谷への坂道

閑静な住宅地

石畳のある路地

横須賀線脇の純粋階段

開店準備中のママさんたちが手招きする

路地のまちの概要	面積	約　　ｈａ	路地の延長	約　　ｍ
	まちの成り立ち、特色等	源頼義（八幡太郎義家の父、頼朝の五代前）が相模守となり、「前九年の役」後、源氏の守り神である京都の「石清水八幡宮」を「由比郷鶴岡」に勧請した（現在、材木座にある「元八幡」（由比若宮））。三方を山に囲まれ、南に海が広がる天然の要害として、後に鎌倉幕府が置かれた。鎌倉幕府滅亡後も鎌倉公方などがおかれ、その補佐関東管領である山之内上杉などが戦国時代まで続くことになる。山之内や扇ガ谷（おうぎがやつ）は鎌倉の地名として現在も残っている。 鎌倉は平地が狭く、平地を有効に活用するように狭い路地が縦横に回っているとともに、周囲の斜面地にも伸びている。鎌倉は太平洋戦争において京都・奈良と同様に空襲をほとんど受けなかったことから、神社仏閣などの古い建物とともにこれらの路地が多く残っている。		